

介護支援専門員調査について

1 調査項目

カテゴリー	No.	調査項目	問番号	調査票頁
1 調査回答者の基本属性	1-1	調査回答者の年齢	問1	資料4-4_1
	1-2	介護支援専門員の経験年数等	問2(ア)	資料4-4_1
	1-3	現在の職場の勤務期間	問2(イ)	資料4-4_1
	1-4	現在の勤務先	問2(ウ)	資料4-4_1
	1-5	介護支援専門員として働き始めてからの事業所数	問2(エ)	資料4-4_1
	変更 1-6	以前、勤務していた事業所を辞めた理由	問2(オ)	資料4-4_2
	1-7	勤務先の介護支援専門員数	問2(カ)	資料4-4_2
	1-8	保健医療福祉関係の資格	問3	資料4-4_2
	1-9	主任介護支援専門員の資格	問4	資料4-4_3
	1-10	勤務先事業所の設置主体	問5	資料4-4_3
	1-11	勤務形態	問6	資料4-4_3
2 担当している利用者の状況	2-1	担当利用者について	問7	資料4-4_3
	2-2	要介護度別利用者の割合	問8	資料4-4_4
	2-3	住まい別利用者の割合	問8-1	資料4-4_4
	2-4	利用者にかかる医療的な処置等の状況	問8-2	資料4-4_4
	2-5	終末期を在宅で迎える利用者数	問8-3	資料4-4_5
3 サービス内容と課題	変更 3-1	量的に不足しているサービスとその理由	問9	資料4-4_5
	3-2	介護保険以外のサービス作成状況	問10	資料4-4_6
	3-3	介護保険サービス以外のサービス利用内容	問10-1	資料4-4_6
	3-4	充実が必要だと思う介護保険外のサービス（自由記述）	問11	資料4-4_7
	3-5	栄養・食生活上の課題や相談先	問12~14	資料4-4_7, 8
	3-6	サービス事業所に関する情報収集方法	問15	資料4-4_8
	3-7	医療に関する情報収集方法	問16	資料4-4_8
	3-8	地域他職種・他機関との連携	問17	資料4-4_9
	3-9	医療機関と連携するうえでの工夫	問18	資料4-4_9
	3-10	在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと	問19	資料4-4_10
	3-11	病院・施設等を入退所する利用者の担当経験の有無	問20	資料4-4_10
	3-12	入退所する病院・施設等との連携	問20-1	資料4-4_11
	3-13	病院・施設との連携のための加算請求の有無	問20-2	資料4-4_12
	変更 3-14	退院・退所の際に困ったことの有無とその理由	問20-3, 4	資料4-4_12
	3-15	在宅で医療的な処置を必要とする支援で困っていること	問21	資料4-4_12
	3-16	在宅医療を進めていくうえで必要な社会資源	問22	資料4-4_13
	3-17	自宅での生活を継続するのに苦慮する課題	問23	資料4-4_13
	新 3-18	ACP（人生会議）の実施	問24	資料4-4_14
	新 3-19	在宅での看取りにおける課題	問25	資料4-4_14
	3-20	在宅医療・介護連携相談支援室の認知度・利用状況	問26	資料4-4_14
	変更 3-21	サービス担当者会議の開催にあたり困難と感じていること	問27	資料4-4_15
	3-22	サービス担当者会議における各職種への出席要請	問28	資料4-4_15
	3-23	サービス担当者会議の開催にあたり工夫していること	問29	資料4-4_15
	変更 3-24	成年後見制度事業・あんしんさぼーと事業について	問30, 31	資料4-4_16
	変更 3-25	利用者の意思決定支援の認知度や考え方	問32	資料4-4_17
	3-26	ケアプラン作成の課題	問33	資料4-4_17
	3-27	自立支援型ケアマネジメントの実施について	問34, 35	資料4-4_18

カテゴリー	No.	調査項目	問番号	調査票頁
4 支援困難な利用者への対応状況		4-1 支援困難な利用者の有無	問36	資料4-4_18
	変更	4-2 支援困難の内容	問36-1	資料4-4_18
		4-3 支援困難事例の対応方法	問37	資料4-4_19
		4-4 認知症高齢者等へのケアプラン作成にあたっての困難	問38	資料4-4_19
		4-5 認知症高齢者等へのケアプラン作成にかかる課題解決の対応	問38-1	資料4-4_20
5 高齢者虐待の状況		5-1 高齢者虐待を受けている、または疑いがある人の有無	問39	資料4-4_20
		5-2 虐待の発見後、地域包括支援センターなどへの相談（通報）有無	問39-1	資料4-4_20
		5-3 通報の義務の認知度	問40	資料4-4_21
		5-4 虐待の発見後、相談（通報）しなかった理由	問40-1	資料4-4_21
	新	5-5 関係事業者における通報の義務の認知度	問41	資料4-4_21
6 居宅介護支援事業全般について		6-1 仕事の満足感	問42	資料4-4_21
		6-2 レベルアップのための取り組み	問43	資料4-4_21
	変更	6-3 業務を行ううえでの課題	問44	資料4-4_22
		6-4 地域包括支援センターへ期待する役割	問45	資料4-4_23
		6-5 地域包括支援センター・区役所等の連携	問46, 47	資料4-4_23, 24
7 ヤングケアラーに関する事	新	7-1 ヤングケアラーという言葉の認知度	問48	資料4-4_24
	新	7-2 自身が支援する要介護者の家族にヤングケアラーがいるか	問49	資料4-4_24
	新	7-3 ヤングケアラーに関する相談窓口の認知度	問50	資料4-4_25
8 介護保険制度についての意見・要望等		8-1 行政に対する期待	問51	資料4-4_25
		8-2 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）		資料4-4_25

2 調査項目の主な変更点

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が出ているか確認するために既存の設問へ選択肢を追加（3（1））
- ・「ACP（人生会議）」「在宅での看取り」「ヤングケアラー」等に関する新規設問を追加（3（2））
- ・「成年後見制度事業」「あんしんサポート事業」等既存の設問を深く掘り下げた設問へ変更

3 新規設問等

(1) 新型コロナウイルス感染症関係

介護支援専門員業務において、新型コロナウイルス感染症の影響が出ているか確認するため、次のとおり各設問へ選択肢を追加する。

勤務していた居宅介護支援事業所を辞めた理由

問2（オ）（問○）で、介護支援専門員として働き始めてから「2か所目」以上と答えられた方におうかがいします。以前、勤務していた居宅介護支援事業所を辞められた理由は何ですか。

（○はいくつでも）

- 1 自分の力量について、不安があったから
- 2 職員同士の関係がうまくいかなかったから
- 3 賃金が低かったから
- 4 残業が多かったから
- 5 事業所への不満・不信等
- 6 兼務業務が忙しく、ケアマネ業務の時間が取れなかったから
- 7 休日・休暇が取れなかったから
- 8 職場までの通勤に時間がかかったから
- 9 事業所の閉鎖（新型コロナウイルスの影響によるものを除く）
- 10 新型コロナウイルスの影響により事業所が閉鎖されたため
- 11 その他

サービス担当者会議での工夫

問29 サービス担当者会議の開催にあたり、担当者への聴取や調整等で、工夫している点があれば教えてください。（○はいくつでも）

- 1 電話やFAX・メールで照会や打ち合わせを実施している
（参加が難しい場合や会議の事前連絡等）
- 2 利用者が通院する際やサービス担当者の訪問時間に合わせて同席する
- 3 会議の出席が難しい場合は、主治医・事業所に対し個別に訪問し意見聴取している
- 4 リモートでの開催を実施した（テレビ会議）
- 5 その他()
- 6 特にない

ケアプラン作成の課題

問 33 ケアプランを作成するにあたって、課題として考えているのはどのようなことですか。

(○はいくつでも)

- 1 介護保険外サービスや地域の情報が少ないこと
- 2 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していないこと
- 3 利用者及び家族との調整が困難なこと
- 4 サービス事業所を選択するにあたっての情報が足りないこと
- 5 区分支給限度額が低いこと
- 6 利用者の経済的理由でサービスが十分利用できないこと
- 7 介護保険サービス・大阪市の高齢者保健福祉サービスの種類が少ないこと
→具体的にどのようなサービスがあればいいとお考えですか。
()
- 8 支援困難な方へのケアマネジメントの方法がわからないこと
- 9 利用者及び家族の意見・要望を聞き出す時間が十分にとれないこと
- 10 同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏りがちになること
- 11 自分の力量について不安があること
- 12 事業所内のミーティングの時間がとりにくいこと
- 13 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の意向で十分なサービス量をプランに反映できない
- 14 新型コロナウイルス感染症の影響によりサービス事業所が休止・廃止等により調整等が難しい
- 15 その他 ()

支援困難の内容

【問○で(担当している利用者のなかに、様々な理由で支援が困難な方が)「1 いる」と回答された方におうかがいします。】

問 36-1 どのようなことで支援が困難となっておられますか。(○はいくつでも)

- 1 家族の協力が得られないこと(家族間の不仲、理解不足等)
- 2 利用者の性格によるもの(不満や苦情が多い、介護支援専門員に攻撃的など)
- 3 経済的理由
- 4 利用者がサービスの利用を拒否すること(介護拒否)
- 5 利用者に認知症による諸症状があること
- 6 利用者が精神疾患のため不安定なこと
- 7 利用者に医療的な処置があること
- 8 家族の介護疲れや疾病や障がいによる介護力不足
- 9 利用者及び家族が介護予防的なケアプランを拒否すること

- 10 新型コロナウイルスの影響で利用者のサービスの利用控えにより適切と考えるプラン作成に同意が得られない
- 11 その他（ ）

業務を行ううえでの課題

問 44 介護支援専門員業務を行ううえで、課題として考えているのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- 1 介護保険サービス、大阪市の介護保険外サービスの種類が少ない
- 2 サービス事業所に関する情報が少ない
- 3 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない
- 4 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない
- 5 多くの問題を抱えている利用者へのケアマネジメントの方法がわからない
- 6 認知症ケアの方法がわからない
- 7 医療機関等、他の施策分野との連携がうまくとれない
- 8 地域包括支援センターとの連携がうまくとれない
- 9 区や市との連携がうまくとれない
- 10 相談できる人が身近にいない
- 11 同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏る
- 12 記録と書類の量が多く負担となっている
- 13 利用者に介護保険制度が十分理解されていない
- 14 介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が介護報酬で評価されない
- 15 要介護認定結果がでるまでの「暫定ケアプラン」調整について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない
- 16 感染症対策
- 17 その他

(3)「ACP（人生会議）」「在宅での看取り」「ヤングケアラー」等に関する新規設問を追加

ACP（人生会議）

問 24 介護支援専門員業務において、ACP（人生会議）を実施していますか。(〇はひとつ)

- 1 知っており、実施をしたことがある
- 2 知っているが、実施をしたことはない

- 3 知らなかったが、今後は実施をしたいと思う
- 4 知らなかったが、今後も実施はしないと思う

在宅での看取りにおける課題

問 25 ケアマネジメントをする中で、在宅での看取りにおいて、課題だと考えることについて
 おうかがいします。(○はそれぞれひとつ)

	そう思う	やや思う	あまり 思わない	思わない
(1) 在宅医療の社会資源が不足	1	2	3	4
(2) 介護の社会資源が不足	1	2	3	4
(3) 本人の理解・意思決定	1	2	3	4
(4) 家族の理解・意思決定	1	2	3	4
(5) 家族介護力	1	2	3	4
(6) 緩和ケア等医療的措置	1	2	3	4
(7) 心理的ケア	1	2	3	4
(8) 家屋環境	1	2	3	4

ヤングケアラーに関すること

問48 ヤングケアラーという言葉を知っていますか？

- 1 聞いたこともあり、意味も知っている
- 2 聞いたことはあるが、よく知らない
- 2 聞いたことはない

問 49 自身が支援する上で、要介護者の家族にヤングケアラーに該当すると思われる方はいますか？

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

問 50 ヤングケアラーに気づいた時に相談する窓口が区役所に設置されていることを知っているか？

- 1 知っている
- 2 知らない

高齢者虐待

問 41 あなたが関係する介護サービス事業者は虐待の疑いがある高齢者を発見した場合、通報の義務があることを知っていると思いますか。(○はひとつ)

- 1 知っている
- 2 やや知っている
- 3 あまり知らない
- 4 知らない